

臨時議会

平成21年第6回臨時議会が11月10日、第7回臨時議会が11月30日に開催されました。

10日には補正予算1件、30日には条例改正の議案4件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

新型コロナウイルス予防接種に対し助成

第6回臨時議会では、新型コロナウイルスの流行に伴い、ワクチン接種の優先対象者に対する費用負担を軽減するため、それに要する費用等、補正予算109万3000円を既定の予算総額に追加し、一般会計予算額を4億7938万8000円としました。

新型コロナウイルス予防接種の助成は、優先接種対象者のうち低所得者に対し全額助成、その他の優先接種対象者に対しては100



0円の助成をします。

議員・職員等給与引き下げ

第7回臨時議会では、県人事委員会の勧告に準じ、議会議員、町長等特別職の12月分の期末手当支給率を0・13月引き下げる条例の改正をしました。

また、職員については月例給を平均0・14%引き下げ、12月分の期末勤勉手当を併せて0・18月引き下げる改正をしました。さらに、職員の持ち家に対する住居手当を廃止しました。

Q 町民からの要望に対して、真摯に受け止め、一つでもやっけていくという姿勢をぜひ持ってもらいたい。

町長 要望に対しては、つぶさに調査し対応している。できるだけやりたいとは思っているが、予算が重要であり、優先順位をつけて対応している。

防災行政無線同報系施設整備事業の入札について

東海林一樹議員

Q 防災行政無線同報系施設整備事業で、予定価格を380万円として入札した結果、8万円で落札された。一般的に考えられないが、業者は何か目的があるのか。

住民生活課長 ルールに従い現場説明をし、仕様書を提示して入札を実施した結果であり、町として仕様書どおりの仕事をしてもらう以外にはない。

自動交付機の廃止について

浅野富男議員

Q 住民票などの自動交付機が廃止ということだが、住民の利便性や祝日等に利用できるということまで運用してきたと思うが、なぜやめることになったのか。

住民生活課長 これまで議会等でも指摘されてきたが、費用対効果で考えるのか、町民サービスで考えるのかという議論をし、町民サービスということではこれ

藤田病院負担金について

斎藤政之議員

まで運用を続けてきた。最終的に経費と利用状況を見た場合、廃止してもそれに代わるサービスを考えるとこの結論に至り、今年度限りでの廃止となった。

Q 藤田病院負担金の問題だが、現在の負担率は相変わらず、5対4対1（国見町、桑折町、伊達市）のままなのか。伊達市もかなり利用者はあると思うが、管理者間の協議はしているのか。

町長 負担割合を改正すべく協議しているが、それぞれ市町の歴史や条件等があり、合意には至っていない。



役場一階ロビーに設置されている自動交付機